

表1 学習・教育到達目標と JABEE 基準との対応

各学習・教育到達目標 [(A), (B), (C)---] が基準1の(2)の知識・能力 [(a)~(i)] を主体的に含んでいる場合には◎印を, 付随的に含んでいる場合には○印を記入する.

基準1(2)の 知識・能力 学習・教育 到達目標	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
I-i)	◎	○	-	○	-	-	-	-	-
I-ii)	○	○	-	◎	-	○	-	-	-
I-iii)	-	○	-	◎	-	-	-	-	-
I-iv)	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
I-v)	-	-	-	◎	◎	-	○	-	◎
I-vi)	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-
II-i)	-	-	◎	◎	-	◎	-	-	-
II-ii)	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
II-iii)	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
II-iv)	-	-	-	◎	-	○	-	-	-

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果, 及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学, 自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学, 技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力, 口頭発表力, 討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的, 継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め, まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

学習・教育到達目標

- I-i) 「**広い視野と柔軟な思考**」安全・環境・生活質向上をキーワードとする土木工学領域に対する広い視野と柔軟でバランスのよいシステム思考を身につける.

- I-ii) 「**地域・文化・市民社会への素養**」それぞれの地域における固有の文化，社会とその規律の歴史的発達，地域や人々の相互関係や相互依存に対して理解し，社会に奉仕しようとする意欲を持ち，社会人にふさわしい幅広い知識と教養を身につける．
- I-iii) 「**環境観**」環境観を育み，持続可能な発展を支える工学技術に必要な知識と考え方を身に付ける．
〈環境観の視点〉
- ・ 自然環境は人類と生物にとってかけがえのない生存基盤であり，その保全には特別の配慮が必要である．
 - ・ 都市と社会基盤施設の建設・管理を対象とする都市システム工学には，環境負荷の削減と環境保全に貢献する責務がある．
 - ・ 技術者として，また一人の市民として，地球環境と地域の環境を守る意識を高め，そのために行動する．
- I-iv) 「**デザイン能力，システムの計画・設計能力**」都市・地域やインフラ施設の質を高めるために，要素を統合して構造物や地域全体の姿を描く技術（空間デザイン能力），また都市管理や環境管理などシステムとして捉えるアプローチ技術を身につける．
- I-v) 「**課題探求能力**」地域の社会自然条件の制約を踏まえ，工学基礎力と専門技術を統合化して，個人及びチームとして問題の設定及び解決に当たる課題探求能力を身につける．
- I-vi) 「**自律的・持続的学習能力**」時代の変化や社会の要請に応えるために，自律的かつ柔軟に対応できる能力と，生涯にわたって持続的に学習を続ける能力を身につける．
- II-i) 「**技術者としての基礎力**」工学者・技術者としての基礎力，すなわち学科の専門科目の基礎としての数学や自然（物理，化学，生物）の基礎学力ならびにコンピューター操作の基礎から GIS，リモートセンシング(RS)などを含む情報処理技術，さらに基本的なプレゼンテーション，コミュニケーション能力までを修得する．
- II-ii) 「**専門基礎学力**」都市基盤施設の計画，設計，施工，維持管理，補修補強，運用に関する技術を修得し，それを応用する能力を身につける．
- II-iii) 「**技術者倫理**」専門的職業人の果たすべき役割・責任をよく理解する．
- II-iv) 「**実際問題への応用力**」土木の実務と建設プロジェクトの推進に関する基本事項を理解し，自ら計画・遂行し，結果を分析・考察する能力を身につける．